五月廿三日夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金…一ケ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 竹崎文治 福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六二〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

愛國機と模型飛行機

福師 志賀一美

(二)

模型飛行機の歴史

模型飛行機は實用飛行機の現れる以前にもう世に現はれて居た。その頃は人が大きな翼つけて高い所から飛び降りた時代で、人間が機械力によつて、空中を飛ぶ事が可能であることを證明するために模型飛行機が用ひられた。

その後ライト兄弟が實際に飛行してからは、飛行機が次第に改良發達し最早飛行可能の證明は不要となつたそこで今度は他の玩具の如く娯樂用として模型飛行機に興つた。だから飛びさへすれば形などはどうでもよかつた。

それでA字型の如き實用飛行機には似も付かない變今形(今から見ればが)流行したこれが所謂第一期模型飛行機黄金時代で、大正八九年頃である。その後は次第に世に顧みられたくなつたが、今日(昭和六七年)再び勃興して第二期模型飛行機黄金時代が出現された。

今日は唯飛べばよいと云ふだけでなく、科學的、教育的の性質を帶びて來た・即ち大なる使命を帶びて來たのである。

模型飛行機の使命

今日は將に航空萬能時代を出現しようとして居る故に航空思想の普及は、科學的にも國防的にも重要である併し唯やたらに航空思想の普及を叫んでも、人々が航空機に關心を持たなくては効果は乏しい。そこに航空機と人心との間にその誘導をするものがあれば大變都合がよい。

この役目が模型飛行機の一大使命である。即ち第一の使命に航空思想の普及の實行手段としての使命である又今日は科學のめまぐるしい發達により、ラヂオ・トーキー、テレビヂョン、ロケットと新しい文明の利器が現はれ、科學の知識の修得にいとまがない。

模型飛行機の製作に從事すれば飛行機の構造飛行の原理を會得すると同時に之等科學的の事柄についての研究心を養成することが出來る。即ち第二の使命は科學教育の最良の手段としての使命である。模型飛行機に興味ある人は皆實用飛行機に興味をもつのは事實である。この事は又第一の使命を裏書きするかくの如き航空機に對する心がその人の個性に合したときにはその人は若き航空技術者であり且つ飛行士である。やがては飛行機の設計、發明家や操從士として皇國の爲につくす人となるのである。即ち第三の使命は優秀なる飛行機の設計、工作に貢獻する空の愛國者養成の使命である。斯くの如き三大使命を帶びる模型飛行機は昭和青少年の高級なる科學的スポーツであらねばならぬ。(をはり)

藝

寂心譜

澤 美枝

さびしらに　山にふかみて
叫べば　こだます
古井戸に
小石一つ投げしごと

さびしらに　巷に出でぬ
人々は　いぶかりつ
くるほしき我がひとみを

夕やけは　はかなき　ものよ
さはれ　さびしらに
幾度か
小路さまよふ

店仕舞に付

商品全部三割から五割引

今回都合により店仕舞ひすことになりましたにつきまして平素特別の御厚情に預りました御禮として二十三日より三日間商品全部三割から五割引と云ふ投げ賣りに近い値段で販賣しますから賣れ切にならぬ内にお早く御買上げ願ひます

拾圓もする高級品が五圓で買ひると云ふことは又とない好機です

平町田町 高野分店 (電話五一五番)

外科 外花柳病科 専門
木村外科醫院
自炊入院の便あり
平町五丁目橋際 電話三〇九

鹽豚(コーンポーク)
肉蒲鉾(ソーセージ)
田町 三三屋

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

七仲の みつ豆を ハせん
魚濱食堂部
電話六三三番

剩す處僅かに六日 愈よ最後の白熱戰

最後まで頑張る三十七名 死物狂ひの各候補

泣くも笑ふもあと正味六日に迫つた平町會議員選擧は既報の如く立候補三十七名にして定員を超過すること實に七名に達した而して各候補の現在勢力脈瞰すると僅か十名内外の安全候補を除く以外のものは勢力殆むと相伯仲し貧乏籤は何人に廻り合すことやら全く逆睹し難い狀態にあるので死物狂ひの各候補は所謂捨身の戰法に出で血みどろな運動をつゞけてゐるが意外の番狂はせが無いとも限らず各選擧事務所とも最後的策戰に移つた模樣である因に四丁目から出馬をうはされた山野邊義政氏は立候補を斷念したものゝ如く結局現在の三十七名により最後の勝負を決せられるであらうと

貴右衞門氏は是の程任期滿了となつたので是が改選の結果再選された

平在郷軍人が 記念日に講演

平在郷軍人分會にては來る二十七日の海軍記念日に際し軍事思想の養成と共に海軍記念日を回顧する爲め各中等學校及び各小學校に於て講演會を催すが尙全校生に對しては軍艦旗より成る徽章を一ヶ一錢宛にて賣却し純益金を三笠保存會に寄附する事になつたと

高溫多濕のため オシヤリ病發生

養蠶家へ注意書

石城郡下各農村の養蠶は愈々掃立を終り目下一二眠中にあるが最近晝間の氣溫は俄に上昇して眞夏の陽氣となり夜間になると袷を着るやうな冷氣を見る等の高溫多濕を受けつゝあるので稚蠶飼育中の農家では取扱を誤るとオシヤリ病蠶の發生を見て違蠶を來たすので近く平蠶業取締所では注意書を發する筈である

小川村議戰

遂ひに一名超過

既報石城郡上下小川組合村の村議選擧は廿八日に迫り一時立候補がないと云ふ奇現象を呈したが去る十八日各大字毎に開かれた打合せ會の結果上平松本喜八氏外八名の出場確定し最近では字鬪場の松本粂重、大森重平、下小川狢狩辰三郎、上平吉田正、松本房次の五氏が出馬するに決定し時局は定員十二名を一名突破するに至つた

内閣賞勳局から 表彰される名譽の家

郡下の受賞者氏名

郡下各町村役場で豫てより調査中であつた一家より多數兵役義務者を出した家庭の表彰は其後縣より陸軍省を經て左記の如く内閣賞勳局より發表され近く表彰される事になつたが本郡下よりは縣下最高組の三名中二名を占める良成績を見た

△銀杯一個（一家七名）植田町鈴木確（一家六名）玉川村箱崎幸吉 △木杯一組（一家五名）勿來町山形忠次 永戸村仲居一雄 赤井村熊谷岩藏 △木杯一個（一家四名）錦村鈴木文太郎 大野村鈴木喜代治 勿來町赤津梅吉 同吉成秋次郎 四倉町丹野庄吉 好間村木田彌作 同藤沼貞司 箕輪村遠藤齊 泉村安島秀太郎 鹿島村鵜沼佐市郎 神谷村林伊鄕 同西郡豐壽 同荒川菊彌 草野村渡邊幸作 同鎌田清松 同新妻松三郎 夏井村矢吹春吉 同鵜沼森松 同鵜沼藤作 平窪村木田源吉 内鄕村高木熊藏 平窪村高田幸次郎

○○○○○北白銀衞生區長 平町十六區北白銀町衞生區長松崎

自動車診療の 第三次日割

平署駐在自動車診療班は近く左記日割を以つて第三次巡廻診療を行ふと

五月廿九日鹿島 卅日箕輪 卅一日永戸 六月二日川部 三日貝宿 四日荷路夫 五日石住 十七日川前

磐中 野外演習

あす夏井と高久で

磐城中學校三年及び五年生五百餘名は明二十四日午前八時より高久夏井村方面に於て大井川、石田、庄司各教師指導の下に野外演習を行ふと

東部聯合の 教育研究會

本郡聯合商業教育研究會にては來る二十五日午前九時より平第一小學校に於て研究會を開き今後の方針及び研究題目に就いて協議を行ふと

磐女生の檢眼

磐城高等女學校にては此の程全校生八百名に對し眼の檢査を行つたが近視眼は百九十一名にてトラホーム患者は僅か八名であると

第一虎眼治療

平第一小學校では來る二十五日より二週間本年度トラホーム患者二十八名の治療を行ふと

平百面鏡

半値の投賣り

高野分店の奉仕

田町高野分店にては都合に依り店仕舞をする事になつたので平素特別の御厚情に報ゆる爲め二十三日より三日間全商品を三割引乃至五割引にて販賣するとの事であれば成可く早い方が得であらうと

兒童の夏服

なかやの賣初め

三丁目なかや洋服店にては本日より第二小學校兒童夏の制服を賣初めたが値段は絹ポプリンで九十錢からであると

町會議員候補者 川崎文治君

原籍 平町字長橋町三五
住所 同上
生年 明治廿八年十一月廿五日
學歷 平尋常高等小學校高等科卒業 中央商業學校卒業 中央大學經濟科半途 國語傳習所修了
職業 常磐毎日新聞社々長 常磐毎日印刷株式會社々長
賞罰 ナシ

推薦狀

拜啓 時下新綠の候貴臺益々御清榮の段奉慶賀候陳者今回町會議員候補者として川崎文治君を最適任者と認め必勝を期して擁立致し候に就いては何卒同君が最大多數の冠榮を擔つて當選相叶候樣絶大の御援助賜り度く此段伏して奉懇願候 敬具

昭和八年五月

平町第一區（長橋新町）有權者有志

川角兼吉外一同

御挨拶

町會議員候補者 川崎文治

是非なく押されて出馬致しましたが顧みますれば淺學菲才甚だ其の器に足らざるを遺憾とする點多く汗顏の至りに耐えません。而し一度立候補を決意致しました以上、自分の所信を町政の上に披瀝して『住みよい平町、明るい鄕土』たらしめ度い願望が胸中に滿ち溢れて居ります。どうぞ私を勝たせて下さい。私は鄕土平町の爲めに根限り働く覺悟と決心を持つて居ります。私は貴下の町政に對する御意見を取次ぐ忠實な公僕である考ひを忘れません必らず御期待に添ふ熱意を有して居ります。財政難の平町が今後爲すべき多くの都市計劃を持つて居る事を懷ふ時、老軀を提げて晝夜の別なく健鬪して居られる青沼町長の誠意誠心に感激し、自分の不敏をも顧ず立候補を決心しました。どうぞ私が町會に一箇の議席を占めて働く事の出來る樣絶大なる御援助を衷心より御願ひ致して止みません。先づは立候補の御挨拶を申上げ、貴下の御聲援を切望致します。

昭和八年五月

内郷の二人組少年 餘罪續々發覺

平署引續き取調べ

既報去る十七日常磐線綴驛事務室に忍入り乗車券を窃取して平署に檢擧された同村字高坂鈴木數雄(一六)假名及び四家忠雄(一八)假名の兩名に就いて其後引つゞき嚴重取調ると本年二月頃無斷家出して空巢覗を働き四月中には平町八幡小路大場辰雄方の留守より金時計衣類等三十圓餘を窃取した外同じく湯本町高木武夫氏方より百三十圓記入貯金通牒等空巢三十六件を働き被害金額約八百圓以上に達し本年正月以來郡內各町村の空巢覗ひは殆んど兩名の仕技であつたと

老人强盜送局さる

けふ起訴直ちに豫審

昨報石城郡好間村大字中好間字川原子植木職木田孝平方に忍び入つた內郷村大字宮字町田十六番地島新松(六九)は本日午前十時一件書類と共に送檢され小林檢事取調べの上强盜傷害罪として起訴平支部の豫審に廻附した

平商業競走

海軍記念日の行事

平商業學校では來る二十七日の海軍記念日に際し講演後全校生の神谷村駐在所往復一萬米マラソンを擧行するがコースは午前八時二十分校庭裏門出發—搔槌小路—本町—鎌田—鹽を通り駐在所に到り直ぐ鹽—鎌田—五丁目—大工町—白銀—田町を通り校庭正門に引返すが當日に於ける各係教諭は左の如くであると

(會長)矢野校長(審判長)服部教頭(決勝審判及記錄)中村 武川 泉田 麻原(出發)麻原(途中審判)新田 下山田 矢野 駒場 曾田(引返所)大澤 本田 菅原 宮澤 木村(救護班)室原 大澤 本田 宮澤 木村 菅原 新田 下山田 矢野 駒場 曾田

青年泥逮捕

數件を自白す

宮城縣野田郡字中里生れ住所不定笹岡光雄(二三)は去る廿日午後九時頃平町南町遠藤ハシ方に忍入り衣類三点時下十圓餘を窃取して驛前を徘徊中平署員に檢擧されたが窃盜餘罪三四件を自白したと

六萬台號

シボレー車來平

既報日本ゼネラルモーター會社の六萬臺號シボレー自動車は今朝午前九時油繪を以て見事に書かれた車体を平町に運び警察署役場其他の官廳新聞社等を歴訪して鳴物入りの宣傳を行つたが午後一時よりは丸友ホールに關係者を招待して盛大な披露會を開いた

JOHK 明日のラヂオ

廿四日 仙台放送局

天氣豫報

今晩は北西の風晴曇半し明日は北西の風天氣

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 獨唱 本多信子 伴奏アルメリア五重奏團

▼後六、二五 趣味講座

▼後七、三〇 謠曲 蟬丸 大阪朝日會館より中繼 梅若萬三郎 觀世左近外

▼後九、〇〇 常磐津

▼後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 基礎英語講座 (二〇)岡倉由三郎

▼前九、一〇 料理献立「土筆と平目のこがね和へ」中曾根うめ子發表

▼前一〇、三〇 家庭講座

▼後〇、〇五 滿洲より

▼後二、〇〇 婦人講座「歌の正しきうたひ方」一七 ピアノ伴奏長坂好子 多賀谷千賀子

▼後二、二〇 野球試合實況 東京大學野球聯盟リーグ戰(豫備日)明治神宮外苑球場より中繼

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「新聞で拾つた話」柚木耶焉

▼後六、二五 ことばの講座「ことばの正しい讀みかた話しかた」三神保格

▼後七、三〇 講演

▼後八、〇〇 ラヂオコメディ「田園四重奏」金平軍之助外演出豊岡佐一郎

▼後八、四〇 三曲「岡康砧」箏佐々木佐喜豊外

▼後八、五五 琵琶「伊豆の御難」飯田胡春詞 永田錦心曲 鈴木平水

父母を失つた兄弟五人

平第一校職員に宛てた 引地訓導遺兒の手紙

平第一小學校職員及び生徒一同は去る十九日元同校に十有餘年勤續盡力中物故した引地淳四郎氏の一週忌に際し墓參をなしたこと既報したが本日同氏の長男憲平君から左の如き書面を寄せられ職員一同をしてホロリとさせたが遺族は妹一人弟三人の五人であるが兩親のない所からはなれ〴〵になり淚の日を送りつゝも憲平君は目下亡父の恩給に依り磐中三年在學中である

此の度亡父の一週忌に際しまして御回向墓參までなし下され御厚情の程有難く御禮申上げます、地下の父もさぞかし感淚にむせんで居る事と存じます、顧みますれば父が歸らぬ旅についたあの日から一ケ年の長い月日が水の流れのやうに過ぎ去り青葉の候となりました、過ぎ去つたあの當時を思ひ起し諸先生方や生徒の皆樣方の深い御同情を今更の樣に感慨無量、新らたな淚をもよほす事ばかりで御座います、あの懷しい第一小學校の校舍に元氣に朗らかに御勉學をなさる皆樣方の御姿を拜しても、高らかに響き渡る少年消防隊のラッパの音をお聞しても亡き父の幻を思ふばかりです、賴るべき親を失つた私等姉弟がはなれ〴〵の淚の月日が立つて思ひ出深い今日となりました、弟等も定めし去年の今日を追憶して御情に淚して居るでせう、私共は團結して成人した曉には御恩にお報ひする覺悟で御座います。

平驛前の 不審男

自轉車泥捕る

去る廿一日夜鎌田町を徘徊する青年を平署員が擧動不審で本署に引致して取調ると石城郡勿來町字大槻生れ住所不定善次四男安島植夫(二八)で去る十九日双葉郡富岡町で自轉車を窃取して平町で賣却せんとしてゐたもので同人は茨城縣方面でも多數の自轉車泥を行つたらしく目下餘罪取調中である

仕立屋竹治

懲役一年を求刑

双葉郡富岡町大字小濱字日ノ下四番地洋服仕立職奥山竹治(四五)が去る十四日午前十時頃同村大字川原植田丑之助の留守宅に忍び入り箪笥の抽斗より現金百二十八圓を窃取した盜盜事件の公判は本日午後一時半より平區裁判所に於て竹內判事係り三堀檢事立會の下に開廷され檢事より懲役一年を求刑されたが言渡しは明日午前九時であると

植田町々會

石城郡植田町では來る廿四日午前十時より町會を開き同町小濱漁港に關する追加豫算の件其他を附議する

逃げた春吉

水戸で捕はる

平町大工町渡邊下駄店雇人湯本町生れ榮吉長男松崎春吉(一六)は年期奉公が嫌になり去る廿一日夜無斷家出をなし平驛で入場券を求め旅客にまぎれ無賃乘車をなし廿二日午前九時水戸驛に着いた處を驛員に發見され其筋に引渡されたので本日平署に照會があつた

鮫川外二ケ所 工事入札執行

平土木監督所では八年度災害復舊土木工事としての藤原川、鮫川、四倉漁港其他三ケ所の復舊工事工費約十萬圓を愈々着手する事となつたので來る廿六日午前十一時より同所內に於いて是が入札を行ふ事になつた

產米相場は 稍々上騰

石城郡販賣利用組合平農業倉庫の共同販賣は昨廿二日同所に於いて行はれ五等六俵等外三十二俵計卅八俵を入札の結果四等建値一俵八圓十六錢を以て平町の志賀信夫氏に落札されたが前回に比較して四錢の高値を見た

農銀引つ越し

磐城銀行跡へ

四丁目縣農工銀行平支店にては最近業務の伸展に伴ひ從來の場所が狹隘を感ずるに至つたので曩に元三丁目磐銀の建物を買受け修築中の處愈々出來上つたので去る二十一日同所に移轉した

外科・婦人科
井坂醫院
平町田町
電話五五九番

幕末劍士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第三百四十五號　上田馬之助

追剝は馬の脚

緒方新三郎は上田馬之助の說諭に依つて先非を悔い茲に改心を誓うた。斯と聞き喜びし新三郎の養父の緒方善右衛門

善『イヤ上田先生貴方の御盡力に依つて新三郎も何うやら人になりました、貴公も御存知の如く新三郎は先殿樣のお胤、それを拙者の養子にいたしたが放蕩者にしては御先代へ濟まぬ、又御當代の殿樣にも相濟まぬ拙者の躾方が不行屆きなる爲放蕩となつたと思はれるは洵につらい、其故心を痛めたが貴公の奇計によつて新三郎の魂を鍛へ直し此の樣子にては武士として世に立つこともなるであらう實以て御厚情忝ない』

と平常は目附役を權に着て威張り散らす善右衛門も此時は禿た頭を疊にすり付けて幾度となく禮を述べた

馬『イヤ緒方殿新三郎殿を改心させたは拙者一人の力ではない吉原の幇間文中も大いに心を勞してゐる、何卒此の者に相當の禮をして頂き度い』

善『承知いたした、何を送つて宜しいの』

馬『金が宜しからう、五十兩もお遣はしください』

と茲で善右衛門から五十兩受取り吉原揚屋町の文中の許に來て

馬『さて文中、貴樣の骨折りで新三郎も眞人間になつたよ、就ては親父から之を遣つてくれと金を俺に渡した、少からうが受取り置け』

文『これは恐れ入りましたこんな物をいただいては濟みません、しかし折角下すつた物御辭退いたすは失禮兎も角もお預り申して置きます、就ては上田先生貴下の謀事は奇々妙々實に稀代不思議、妙、きてれつでございますナ、貴下に是程の智慧があらうとは弘法大師でも氣がつきますまい』

馬『大層賞めるな、左樣賞めたとて俺には五十兩やる程の力はないぞ』

文『イエお金を頂き度いとか羽織を拵いて貰ひたいとの野心があつて追從する譯ではございません、道樂者をため直すには正面から意見するより先此の色町の惡い所を見せて愛想をつかす樣にしむけるが第一の手段これが道樂者を直す妙藥、しかしこゝまで深く考へる人は少い遊びにも行くな酒も飲むな無駄な事に金を費ふな物見遊山もするな芝居を見たいと思つたならば錦繪を見てゐろ旨い物[illegible]べたい時はお腹を空らにしてお香々で茶漬を食べ其上親には孝行しろどんな無理を云はれても其れに從へと、世間の親達は此んな事を云ひますが神樣ではなし、佛樣ではなし、血の通つてゐる人間の子は何うしてこんな意見を聞き入れませう、それを貴下が知つてゐるから道樂者を吉原に置いて藝人にばかり會はせて嫌な所を見せてあゝこれは宜くない藝人は卑しい者だ、また色町の內幕は野暮なものと、こう思ふと此廓がいやになつて自然と堅くなります、これが反間苦肉の計略、死中に活を求めると云ふ寸法でございますね』

馬『マアそんなものだな、併し新三郎も空馬鹿でもないから此の計畫が行はれて先づ以て目出度い、何卒お前から今まで出入をした人に宜しく申してくれ』

文『畏まりました』

馬『またこれを緣にお前だけは緒方へ出入をするが宜い』

文『有難う存じます、そこで先生にお願ひ申して置きますが、向島で新三郎さんを威したあの役者にも何程か褒美をやつて頂きたい物でございます』

馬『よし〳〵承知した、これで一口飲ましてくれ』

と十兩出した

文『へエ有難うございますイヤあの向島で追剝になつた彼奴らは役者の下廻り下廻りでも役者でございますから追剝らしく見せる處は素人とは違ひます、しかし先が引き拔いてさア參れと云つて刀を振り廻した時は驚いたさうでございますよ』

馬『さうだらう、俺もあの時は困つたよ、眞實の賊ならば斬つて了ふがこしらへ物だから怪我をさせぬ樣にとそれに心をくばつた爲にイヤ頗る骨が折れたアハヽヽ』

と笑ひました。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

市原醫院
平町田町
電話一一四番

お醬油は……ヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鰹節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町【電話營業部一〇釀造工場三七】
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は(久)の生命なり

磐城セメント會社特約店
(久)金屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番

夏の學生服

野も山も新綠です……
輕快な霜降洋服が澤山
揃ひました
どうぞ御用意下さい。

小學生用……¥.40ヨリ
同(特製品)……¥1.20ヨリ
中學生用……¥2.05ヨリ

ふかや洋服店 平三 電203